

2022年11月1日

株式会社海外交通・都市開発事業支援機構

北米 航空旅客向け自動運転移動サービス事業の支援を決定

株式会社海外交通・都市開発事業支援機構（東京都千代田区、代表取締役社長：武貞達彦、以下「JOIN」）は、WHILL 株式会社（東京都品川区、代表取締役社長 CEO：杉江理、以下「WHILL 社」）が展開する、北米空港における航空旅客向け自動運転でのサービス事業に参画するため、最大約 23 億円の出資及び融資を行うことを決定し、国土交通大臣の認可を取得しました。

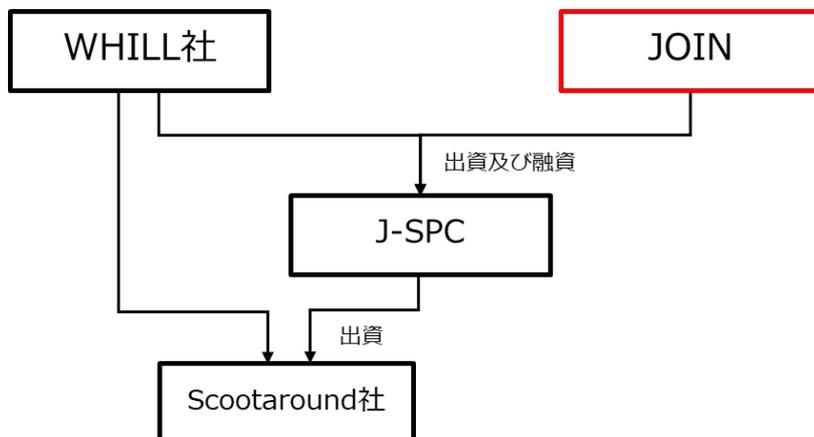
本事業は WHILL 社と JOIN の支援を受けた WHILL 社傘下の Scootaround 社が、北米（米国・カナダ）の空港施設内において、WHILL 社開発の自動運転パーソナルモビリティ（一人用の乗り物）を用いた移動サービスを展開するものです。本事業により、旅客のバリアフリーでより快適な移動を実現するとともに、従来の車椅子利用時の介助スタッフを省人化することでの人材の最適配置、ソーシャルディスタンス確保等にも貢献します。

「すべての人の移動を楽しくスマートにする」をミッションに設立された WHILL 社は日本の最先端技術を結集したパーソナルモビリティを自社で開発・生産・展開し、羽田空港で世界初となる自動運転モビリティサービスを実用化するなど注目を集めています。JOIN は本事業を通じて、自動運転モビリティサービスのハードウェア・ソフトウェア開発技術力と運営ノウハウを有する WHILL 社の海外展開を後押しします。

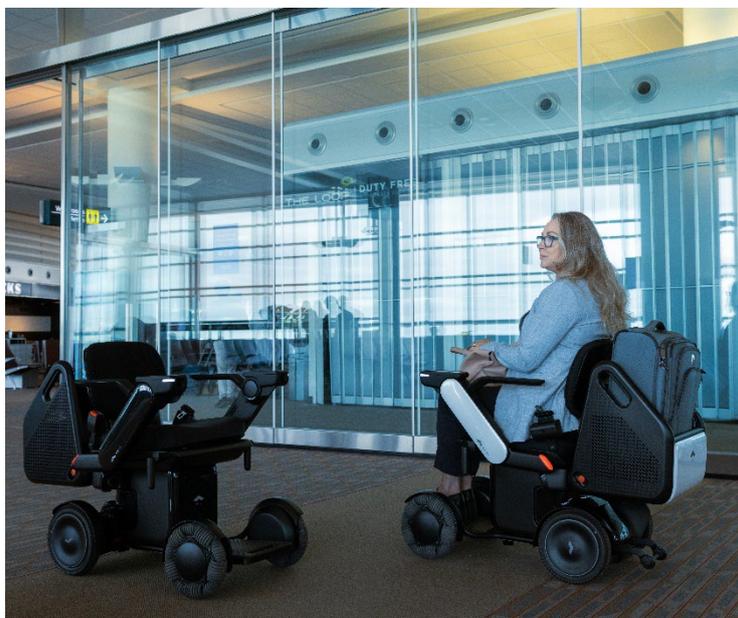
近年各国で MaaS（Mobility as a Service）のニーズが高まる中、パーソナルモビリティは公共交通機関を降りた先と目的地をつなぐ、“ワンマイル”を担う移動手段として欠かせない重要な要素とされています。WHILL 社と JOIN は空港での自動運転パーソナルモビリティ展開を足掛かりに、すべての人が安全かつシームレスに移動できる MaaS の社会実装を目指します。

また、本事業は「インフラシステム海外展開戦略 2025 追補版（令和 4 年 6 月 3 日 経協インフラ戦略会議決定）」の重点施策である「ポストコロナを見据えたより良い回復の着実な実現」や「コアとなる技術・価値の確保」等に資するものです。

(事業スキーム)



(サービスイメージ図)



(WHILL 社自動運転パーソナルモビリティ概要)



<各社概要>

■株式会社海外交通・都市開発事業支援機構 (JOIN)

本社： 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号
代表者： 代表取締役社長 武貞 達彦
事業内容： 海外の交通・都市開発事業への本邦企業の参画を出資等により支援
企業 URL： <https://www.join-future.co.jp>

■WHILL 株式会社

本社： 東京都品川区東品川2丁目1-11 ハーバープレミアムビル 2F
代表者： 代表取締役社長 CEO 杉江 理
事業内容： 近距離モビリティ WHILL の開発・販売ならびに付随サービスの展開
企業 URL： <https://whill.inc/jp/>

■Scootaround, Inc.

本社： 1345 Waverley Street, Suite 302. Winnipeg, MB, R3T 5Y7 Canada
代表者： CEO / Managing Director Kerry Renaud
事業内容： 歩行困難者向けモビリティサービス等の提供
企業 URL： <https://scootaround.com/en>

(お問い合わせ先)	株式会社海外交通・都市開発事業支援機構 (JOIN) 事業推進部 末永 TEL： 03-5293-6743 E-Mail： info@join-future.co.jp
-----------	---